



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 7 年度

久我排水路改修工事（その1）

金 抜 き 設 計 書

（当初）

京都市

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

項 目 名	内 容
事業主体名	京都市
事業名	
地区名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）
施工場所	京都市伏見区久我西出町他地内
工事番号	
工事区分	単年度
積算区分	当初積算
地域区分	南部
地区区分	京都
工期	契約の日の翌日から令和8年3月13日まで
積算体系年月	令和7年3月
単価期適用年月	令和7年7月一A
歩掛期適用年番号	令和6年99号一A
電力会社名	関西電力

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

項 目 名	内 容
工事名	
工事区分	単年度
積算区分	当初積算
積算体系区分	一般土木工事（明細型）
工種区分	水路工事
工種体系区分	その他土木工事（1）（明細型）
工事工種体系年番号	令和6年99号〔1号〕
契約保証費	計上する
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・1年未満
冬期補正	なし
週休2日補正	4週8休以上
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	市街地（DID補正）(1)-2
現場環境改善費の計上	しない
3次元出来形管理補正(共通仮設費)	補正なし
3次元出来形管理補正(現場管理費)	補正なし

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
1 工事価格				
2 ・ 工事原価				
3 純工事費				
4 ・ ・ 直接工事費				
5 ・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式		
6 ・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工)	1.000	式		
7 ・ ・ 間接工事費				
8 ・ ・ ・ 共通仮設費				
9 ・ ・ ・ ・ 運搬費～営繕費等				
10 ・ ・ ・ ・ 運搬費	1.000	式		
11 ・ ・ ・ 現場管理費				
12 ・ ・ ・ ・ 現場管理費 (率計上)				
13 ・ 一般管理費等				

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

見積参考資料

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

工種・種別	名称	規格・仕様・条件等	単位	単価(円)	施工費（諸雑費込）等の区分	備考
排水路工	鉄筋コンクリート大型水路設置工					
	鉄筋コンクリート大型水路 差筋付	(mm) H1600×B3300×2000	本	318,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1392-1270/1514	本	393,270	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1531-1409/1653	本	414,360	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1000	本	273,110	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1223-1446/1000	本	367,630	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1471-1694/1248	本	405,260	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費	
	鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1502-1695/1309	本	409,960	材料費	

見積参考資料

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

工種・種別		名称	規格・仕様・条件等	単位	単価(円)	施工費（諸雑費込）等の区分	備考		
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1381-1574/1188	本	391,600	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1500	本	348,970	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1283-1154/1412	本	377,420	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1492-1363/1621	本	408,440	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路 差筋付	H1600×B3300×2000	本	318,450	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路 差筋付	H1600×B3300×1309-1078/1540	本	395,680	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1309-1078/1540	本	380,680	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1000	本	273,110	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1395-1247/1543	本	393,730	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1152-1004/1300	本	356,860	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×1000	本	273,110	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費			
		鉄筋コンクリート大型水路	H1600×B3300×2000	本	303,450	材料費			
		合計			11,658,740				
		一括計上価格							
		家屋調査費							
	事前家屋調査費用	調査及び報告書作成	式	3,930,000	諸経費込み価格				

見積参考資料

積算に準用した市販図書等の積算基準は下表のとおりです。

準用積算基準		発行機関	計上した細別	備考
図書名	発行年月等			
農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）令和6年度	令和6年7月	（一社）農業農村整備情報総合センター	全工種	

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）内訳				
直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
・土工	1.000	式		
・ ・ 土工	1.000	式		
・ ・ ・ 掘削工	1.000	式		
・ ・ ・ 盛土工	1.000	式		
・ ・ ・ 作業土工	1.000	式		
・ ・ ・ 切土法面整形工	1.000	式		
・ ・ ・ 残土処理工	1.000	式		
・ 排水路工	1.000	式		
・ ・ 現場打ち排水路設置工	1.000	式		
・ ・ ・ 現場打ち水路（1） No. 0付近 L=2.50m	1.000	式		
・ ・ ・ 現場打ち水路（2） No. 2+11.50m付近 L=2.55m	1.000	式		
・ ・ ・ 流入水路（1） No. 2+11.50付近 現場排水路（2）に流入	1.000	式		
・ ・ 鉄筋コンクリート大型水路設置工	1.000	式		

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
・ ・ ・ 鉄筋コンクリート大型水路二次製品費 H1600×B3300×L2000	1.000	式		
・ ・ ・ 鉄筋コンクリート大型水路設置工 H1600×B3300×L2000	1.000	式		
・ 擁壁工	1.000	式		
・ ・ コンクリート擁壁設置工	1.000	式		
・ ・ ・ 境界擁壁 H=0.5m	1.000	式		
・ 土間コンクリート工	1.000	式		
・ ・ 土間コンクリート設置工	1.000	式		
・ ・ ・ 土間コンクリート コンクリート厚100mm、溶接金網φ6mm-□150mm	1.000	式		
・ 構造物撤去工	1.000	式		
・ ・ 構造物取壊し工	1.000	式		
・ ・ ・ 張コンクリート撤去	1.000	式		
・ ・ ・ コンクリート殻運搬処理工	1.000	式		
・ ・ ・ 木柵水路廃材運搬処分	1.000	式		

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費（仮設工）内訳				
直接工事費（仮設工）	1.000	式		
・ 仮設工	1.000	式		
・ ・ 仮設道路工	1.000	式		
・ ・ ・ 仮設道路設置・撤去	1.000	式		
・ ・ ・ 仮設道路撤去後耕地復旧	1.000	式		
・ ・ 水替工	1.000	式		
・ ・ ・ 土のう仮締切り（製作・設置・撤去） 大型土のう×2個＋土のう	1.000	式		
・ ・ ・ 仮排水（排水ポンプ運転）	1.000	式		
・ ・ 交通安全対策工	1.000	式		
・ ・ ・ 交通誘導員配置 3箇所	1.000	式		

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)					
・ 土工	1.000	式			
・ ・ 土工	1.000	式			
・ ・ ・ 掘削工	1.000	式			1 式当たり
掘削 土砂, 片切掘削, -, -, -, -, -	11.000	m3			歩A・単A S単 23号
合 計					
・ ・ ・ 盛土工	1.000	式			1 式当たり
埋戻し土機械投入 土砂, 小規模(標準)	5.000	m3			歩A・単A S単 24号
盛土 (人力締固め) 砂・砂質土, 盛土, まき出し, 振動コンパクタ(I)	5.000	m3			歩A・単A S単 1号
合 計					
・ ・ ・ 作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂, 標準, 無し, 無し, なし	250.000	m3			歩A・単A S単 28号
埋戻し土機械投入 土砂, 小規模(標準)	83.000	m3			歩A・単A S単 24号
埋戻し (人力締固め、構造物周辺、0.5m) 粘性土・礫質土, 埋戻, まき出し, タンパ(I)	83.000	m3			歩A・単A S単 2号
埋戻し土機械投入 土砂, 小規模(標準)	12.000	m3			歩A・単A S単 24号
埋戻し (人力締固め、1.0m未満) 粘性土・礫質土, 埋戻, まき出し, 振動コンパクタ(I)	12.000	m3			歩A・単A S単 3号

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
合 計					
・ ・ ・ 切土法面整形工	1.000	式			1 式当たり
法面荒仕上げ 土砂	150.000	m ²			歩A・単A S単 4号
合 計					
・ ・ ・ 残土処理工	1.000	式			1 式当たり
残土積込み 土砂, 土量50,000m3未満	150.000	m3			歩A・単A S単 25号
残土運搬 標準, バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 有り, 5.0km以下	150.000	m3			歩A・単A S単 29号
処分価格 粘性土	150.000	各単位			歩A・単A S単 6号
合 計					
・ 排水路工	1.000	式			
・ ・ 現場打ち排水路設置工	1.000	式			
・ ・ ・ 現場打ち水路 (1) No. 0付近 L=2.50m	1.000	箇所			1 箇所当たり
人力床均し 基面整正	9.750	m ²			歩A・単A S単 30号
基礎碎石 RC-40 t=200mm 17.5cmを超え20.0cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシャラン RC-40 40~0	9.750	m ²			歩A・単A S単 33号

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
mm					
基礎コンクリート 18-8-40BB t=100mm 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40 (高炉B)) W/C65%	0.980	m3			歩A・単A S単 35号
基礎コンクリート型枠 一般型枠, 均しコンクリート	0.500	m ²			歩A・単A S単 40号
躯体コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 21-8-25 (20) (高炉B) W/C60%	3.810	m3			歩A・単A S単 36号
躯体コンクリート型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	17.500	m ²			歩A・単A S単 41号
吸出防止材 合繊不織布 厚10mm 9.8KN/m	0.180	m ²			歩A・単A
フィルター材敷設 単粒度碎石4号 30~20mm フィルター材, 単粒度碎石 4号 30-20	0.450	m3			歩A・単A S単 43号
硬質塩ビ管敷設 VUφ50 250mm×2箇所 VU, 50mm, 直管 (両差し口), 4.0m管, 0箇所	0.500	m			歩A・単A S単 12号
【鉄筋工】 SD345, D13, 一般構造物, 10t未満, -, 無し, 一般構造物 (切梁無し), 10%未満	0.139	ton			歩A・単A S単 10号
合 計					
・・・ 現場打ち水路 (2) No. 2+11.50m付近 L=2.55m	1.000	箇所			1 箇所当たり
人力床均し 基面整正	9.950	m ²			歩A・単A S単 30号
基礎碎石 RC-40 t=200mm 17.5cmを超え20.0cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシュラン RC-40 40~0	9.950	m ²			歩A・単A S単 33号
mm					
基礎コンクリート 18-8-40BB t=100mm 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40 (高炉B)	1.000	m3			歩A・単A S単 35号

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
) W/C65%					
基礎コンクリート型枠 一般型枠, 均しコンクリート	0.510	m ²			歩A・単A S単 40号
躯体コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 21-8-25 (20) (高炉B) W/C60%	3.810	m ³			歩A・単A S単 36号
躯体コンクリート型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	15.010	m ²			歩A・単A S単 41号
吸出防止材 合繊不織布 厚10mm 9.8KN/m	0.180	m ²			歩A・単A
フィルター材敷設 単粒度砕石4号 30~20mm フィルター材, 単粒度砕石 4号 30-20	0.460	m ³			歩A・単A S単 43号
硬質塩ビ管敷設 VUφ50 250mm×2箇所 VU, 50mm, 直管 (両差し口), 4.0m管, 0箇所	0.500	m			歩A・単A S単 12号
【鉄筋工】 SD345, D13, 一般構造物, 10t未満, -, 無し, 一般構造物 (切梁無し), 10%未満	0.149	ton			歩A・単A S単 10号
合 計					
・・・ 流入水路 (1) No. 2+11.50付近 現場打水路 (2) に流入	2.500	m			1 m当たり
人力床均し 基面整正	1.800	m ²			歩A・単A S単 30号
基礎砕石 RC-40 t=200mm 17.5cmを超え20.0cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシュラン RC-40 40~0mm	1.800	m ²			歩A・単A S単 33号
躯体コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40 (高炉B) W/C65%	0.840	m ³			歩A・単A S単 37号
躯体コンクリート型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	4.440	m ²			歩A・単A S単 41号

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
合 計					
・ 鉄筋コンクリート大型水路設置工	1.000	式			
・ ・ ・ 鉄筋コンクリート大型水路二次製品費 H1600×B3300×L2000	1.000	式			1 式当たり
鉄筋コンクリート大型水路 (割付番号 1 ～ 3 5) H1600×B3300 ウィーブホールあり 35個 L=58.94m	1.000	式			歩A・単A
合 計					
・ ・ ・ 鉄筋コンクリート大型水路設置工 H1600×B3300×L2000	58.900	m			1 m当たり
人力床均し 基面整正	3.630	m ²			歩A・単A S単 30号
基礎砕石 RC-40 t=100mm 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0m	3.630	m ²			歩A・単A S単 34号
m					
基礎コンクリート 18-8-40BB t=100mm 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40 (高炉B) W/C65%	0.182	m ³			歩A・単A S単 35号
基礎コンクリート型枠 一般型枠,均しコンクリート	0.100	m ²			歩A・単A S単 40号
吸出防止材 合繊不織布 厚10mm 9.8KN/m	0.180	m ²			歩A・単A
フィルター材敷設 単粒度砕石4号 30～20mm フィルター材,単粒度砕石 4号 30-20	0.180	m ³			歩A・単A S単 43号
鉄筋コンクリート大型水路機械据付工 2000mm, 3500kg超え5500kg以下kg,ラフレックレン,モルタル, 0.000m, なし, モル タル, 3.4m	1.000	m			歩A・単A S単 11号

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合 計					
・ 擁壁工	1.000	式			
・ ・ コンクリート擁壁設置工	1.000	式			
・ ・ ・ 境界擁壁 H=0.5m	60.000	m			1 m当たり
基礎砕石 RC-40 t=100mm 7.5cmを超え12.5cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシャラン RC-40 40~0m	0.400	m ²			歩A・単A S単 34号
m					
躯体コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40(高炉B) W/C 65%	0.110	m ³			歩A・単A S単 38号
躯体コンクリート型枠 一般型枠, 小型構造物	1.020	m ²			歩A・単A S単 42号
人力床均し 基面整正	0.400	m ²			歩A・単A S単 30号
合 計					
・ 土間コンクリート工	1.000	式			
・ ・ 土間コンクリート設置工	1.000	式			
・ ・ ・ 土間コンクリート コンクリート厚100mm、溶接金網φ6mm-□150mm	153.000	m ²			1 m ² 当たり
基礎砕石 RC-40 t=100mm 7.5cmを超え12.5cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシャラン RC-40 40~0m	1.000	m ²			歩A・単A S単 34号
m					

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40 (高炉B)) W/C65%	0.100	m ³			歩A・単A S単 39号
溶接金網 線径6.0mm 網目150mm	1.000	m ²			歩A・単A
合 計					
・ 構造物撤去工	1.000	式			
・ ・ 構造物取壊し工	1.000	式			
・ ・ ・ 張コンクリート撤去	1.000	式			1 式当たり
コンクリート取壊し (人力) 無筋, なし, 人力, 昼間施工	11.000	m ³			歩A・単A S単 9号
合 計					
・ ・ ・ コンクリート殻運搬処理工	1.000	式			1 式当たり
コンクリート殻積み 破碎岩, 平均施工幅1m以上2m未満	11.000	m ³			歩A・単A S単 26号
コンクリート殻運搬 コクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下	11.000	m ³			歩A・単A S単 31号
建設廃材 無筋コンクリート廃材	11.000	m ³			歩A・単A S単 7号
合 計					
・ ・ ・ 木柵水路廃材運搬処分	1.000	式			1 式当たり

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

事業名	
工事名	久我排水路改修工事 (その1)

名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工)					
・ 仮設工	1.000	式			
・ ・ 仮設道路工	1.000	式			
・ ・ ・ 仮設道路設置・撤去	1.000	式			1 式当たり
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去, 90, 1, なし	652.000	m ²			歩A・単A S単 20号
養生シート (不織布系土木シート3mm厚) 敷設・撤去 敷設～撤去	876.000	m ²			歩A・単A S単 21号
合 計					
・ ・ ・ 仮設道路撤去後耕地復旧	1.000	式			1 式当たり
トラクタ耕起作業 無	876.000	m ²			歩A・単A S単 13号
合 計					
・ ・ 水替工	1.000	式			
・ ・ ・ 土のう仮締切り (製作・設置・撤去) 大型土のう×2個+土のう	2.000	箇所			1 箇所当たり
大型土のう工 製作, 土, 現地土, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし	2.000	袋			歩A・単A S単 15号
大型土のう工 設置, バックホウ, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし	2.000	袋			歩A・単A S単 16号
大型土のう工 撤去, バックホウ, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし	2.000	袋			歩A・単A S単 17号
土のう工 仕締め～設置～撤去	0.400	m3			歩A・単A S単 14号

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

事業名	
工事名	久我排水路改修工事（その1）

[illegible]

工事の請負に係る最低制限価格算定資料

○直接工事費※1＝直接工事費（仮設工を除く）※2＋直接工事費（仮設工）※2

- 1 労務費・機械経費（賃料）の補正
 - ・週休2日（通期の週休2日） 補正係数1.02

○共通仮設費※1＝共通仮設費（率計上分）※2※3＋運搬費（積上分）※2

- 1 農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）令和6年度に基づき工種区分「水路工事」の共通仮設費率を適用する。
- 2 共通仮設費率の補正
 - ・施工地域区分 市街地（DID補正）（1）－2 補正係数1.2
 - ・週休2日（通期の週休2日） 補正係数1.02

○現場管理費※1＝現場管理費（率計上分）※2※3

- 1 農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）令和6年度に基づき工種区分「水路工事」の現場管理費率を適用する。
- 2 現場管理費率の補正
 - ・施工地域区分 市街地（DID補正）（1）－2 補正係数1.1
 - ・週休2日（通期の週休2日） 補正係数1.03

○一般管理費※1＝一般管理費等（率計上分）※2※3

- 1 農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）令和6年度に基づき一般管理費等率を適用する。
- 2 一般管理費等率の補正
 - ・契約保証に係る補正 補正值0.04（%）
- 3 一般管理費等の端数処理
 - ・一般管理費は、「土地改良事業等請負工事積算基準等の運用について（平成13年3月22日12農振第1686号）Ⅱ．土地改良事業等請負工事積算基準の運用事項の第8工事価格の中で示す端数処理により、工事価格の金額は10,000円単位とし、10,000円未満を切り捨てる。」となっているため、率計上の計算結果から最大9,000円減じた額となっている。

○一括計上価格※1※2※3

- 1 家屋調査に要する費用であり、最低制限価格算定において共通仮設費の積上分と同様に扱う。

※1 … 最低制限価格算定に用いる額

※2 … 予定価格の算定に用いた積算価格

※3 … 一括計上価格は、家屋調査に要する費用であり、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費の率計上分の対象額としない。

特 記 仕 様 書

工 事 名 久我排水路改修工事（その１）
工事場所 京都市伏見区久我西出町他地内
工 期 契約の日から令和８年３月１３日まで

1 一般事項

（適用）

第１条 本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和６年８月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和６年８月）」によらなければならない。

なお、鉄筋コンクリート大型水路設置工に係る施工管理基準は農林水産省制定「土木工事施工管理基準」（https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kyotu_siyosyo/k_kizyun/index.html）とする。

本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>）

2 本工事は、「農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）令和６年度」で工事価格を積算している。（https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/sekisan_kijun/index.html）

（受注者希望方式による「月単位の週休２日」の実施）

第２条 本工事は「京都市建設局週休２日工事」の対象（受注者希望方式による「月単位の週休２日」）であり、「京都市建設局週休２日工実施要領」

（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休２日」は必須である。

2 受注者は、契約後すみやかに、「月単位の週休２日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「月単位の週休２日」の実施内容を反映させること。

3 「月単位の週休２日」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

4 受注者は、本市が週休２日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休２日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。

5 工事標示板に「京都市建設局週休２日工事」（４週８休以上であることを明記すること。）である旨を明示すること（様式不問）。

（受注者希望型におけるＩＣＴ活用工事の試行）

第３条 本工事は、「京都市建設局ＩＣＴ活用工事試行方針（案）」（令和６年２月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ＩＣＴ活用工事試行要領（案）」（令和６年２月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いＩＣＴ活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照

（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>）

2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ＩＣＴ活用工事を試行できる。

3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はＩＣＴ活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ＩＣＴ施工技術を活用できる。

なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議により選定できる。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

- 4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更で必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。
- 5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

（「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

第4条 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。

- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評価の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

（前払金）

第5条 前払金は、請負代金の40%以内とし、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

2 現場条件に関する事項

（現場条件）

第6条 本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 2 本工事施工範囲における、施工上及び施工管理上のトラブルについては、請負者の責任において処理すること。
- 3 施工は、周辺のほ場の稲刈り終了後とする。
- 4 隣接するほ場を一部借地して施工するため、踏み荒らし等は修復し、原形復旧すること。
- 5 本工事箇所周辺には宅地が近接して存在するため、周辺への影響を考慮した施工計画をたて、特に宅地擁壁の変位や変状には注意して施工すること。また、施工計画においては擁壁の変位等を常に把握できるよう、動態観測計画について立案して監督員と協議するとともに、定期的に周辺擁壁高等の変位の確認をし、監督員に報告すること。また、影響が確認された場合にはただちに作業を中止し、その対応策を検討した上で、監督員とその後の施工方法について協議すること。
- 6 水路基礎は直接基礎を計画しているが、現地の代表箇所で支持力を確認の上、不足の場合は監督員と協議すること。

（交通誘導警備員）

第7条 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

設置場所	交通誘導員	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交代要員の有 無
伏見区久我西出町	3名	交通誘導員B 3名	昼間	無

3 監督職員の確認に関する事項

(材料確認)

第8条 受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）」との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

【主要材料】

1 コンクリート

コンクリートは JIS A 5308 レディミクストコンクリートによる標準品とする。使用セメントは、高炉セメント（B種）とする。

標準配合設計は次の通りである。

設計基準強度	スランプ	粗骨材最大寸法	水セメント比	備考
$\sigma 28=21\text{N/mm}^2$	8cm	25mm	55%以下	鉄筋コンクリート
$\sigma 28=18\text{N/mm}^2$	8cm	40mm	55%以下	無筋コンクリート
$\sigma 28=18\text{N/mm}^2$	8cm	40mm	60%以下	均しコンクリート

2 鉄筋

鉄筋の規格は以下の通りとする。

鉄筋 SD345

3 プレキャストコンクリート製品

主要二次製品は JIS 指定工場又は JIS 表示品又は相当品とし、事前に仕様書、試験表、サンプル等の資料を提出し、監督員の承認を得ること。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材料・製品	備考
プレキャストコンクリート製品 (JIS 規格製品を含む)	「品質管理基準及び規格値」(区分・項目・方法・頻度)

プレキャストフリュームの規格は以下の通りとする。

地下水による浮力に対して安全率 1.2 以上を確保すること。

斜切りによる角度調整が可能な製品であること。

(受注者の臨場)

第9条 監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければ

ならない。

(段階確認)

第 10 条 受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表 3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

「共通仕様書（3-1-1-4）の「表 3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認

工種・種別等	細 別	確 認 時 期
排水路工	現場打水路設置工	鉄筋組立て完了時
排水路工	鉄筋コンクリート大型水路設置工	掘削床付けが完了し、各測点での地盤支持力測定が完了した時点

4 建設副産物に関する事項

(建設副産物の適正処理)

第 11 条 本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成 23 年 4 月 1 日）及び「京都市産業廃棄物不適正処理対策要綱」（最終改正平成 16 年 4 月 1 日実施）を遵守すること。特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のある A、B2、D、E 票については、その原本を監督職員へ提示すること。

建設副産物	受け入れ場所	備考
建設発生土（粘性土）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 （住所）京都市伏見区横大路下三栖里ノ内 3 9 （名称）株式会社京都夢産業	設計運搬距離 L = 3.8km
コンクリート塊 （無筋）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 （住所）乙訓郡大山崎町下植野北牧方 2 5 （名称）株式会社環境整備ニジュウイチ	設計運搬距離 L = 4.5km
建設発生木材	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 （住所）京都市伏見区久我西出町 4 - 3 8 （名称）伏見クリエイト株式会社	設計運搬距離 L = 1.4km

(特定建設資材の分別解体等及び再資源化等)

第12条 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和4年6月17日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他(撤去工)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物処理施設、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理」に記載のとおりとする。

2 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

(家屋調査)

第13条 本工事では、本工事に伴う地盤変動により生じた建物等の損傷を確認するための家屋事前調査を行うものとする。

2 実施内容は、作業計画の策定、地盤変動影響調査、建物及び工作物の事前調査等である。

3 家屋調査については、「公共事業に係る工事の施工に起因する地盤変動により生じた建物等の損害に係る事務処理要領の制定について(昭和61年4月1日建設省経整発第22号)」(以下「要領」という。)によるものとする。

なお、要領に明記されていない事項等、疑義が生じた場合には監督職員と協議するものとする。

4 成果品の内容に不備が認められた場合は、受注者の責任において修正を行うものとする。

5 打合せは、着手時、中間1回、成果物納入時に行うものとする。

6 報告書は3部作成し、監督職員、請負人、家屋所有者が保管するものとする。家屋所有者に報告書を提出するときは、請負者及びその調査を行った責任者が、家屋の状況を説明した上で家屋所有者の確認印をもらうこと。

7 本工事の影響により、損害が拡大したもの又は新たな損害が発生したものがあれば、至急監督職員に報告すること。

- 8 家屋調査についての積算は、「用地調査等業務費積算基準」により算定している。
- 9 対象調査家屋は以下の表のとおりとする。
 なお、調査区域については以下の図による。

(表)

対 図 記 号	所在	地番	棟 数	建物の 構造	延床 面積 (㎡)	工作物調査 面積 (㎡)	備考
①	京都市 伏見区 久我 西出町	13-104	1	木造	124.74	113.45-63.18	木造A(70～130㎡)
②		(13-104)		—	—	50.27	工作物(100㎡未満)
③		13-45	1	木造	95.58	97.75-46.98	木造A(70～130㎡)
④		(13-45)		—	—	50.77	工作物(100㎡未満)
⑤		13-62	1	木造	121.50	132.36-63.18	木造A(70～130㎡)
⑥		(13-62)		—	—	69.18	工作物(100㎡未満)
⑦		13-77	1	木造	30.0	165.11-30	木造C(70㎡未満)
⑧		(13-77)		—	—	135.11	工作物(300㎡未満)

(図)



(工事用地等の使用)

- 第14条 工事に支障となる立木等の伐採は、事前に監督職員の承認を得た後、行うこと。
- 2 工事に使用できる借地範囲は設計図書に示すとおりであるが、やむを得ずこれを変更する時は、事前に監督職員の承認を得ること。

(施工時の留意事項)

第 15 条 水路工の施工

- (1) 水路工は延長があり地質状態が一定で無い可能性がある。基礎地盤が軟弱な場合は、監督職員の承認の後、置き換えや地盤改良など適切な処理を行うこと。追加工事については設計変更の対象とする。
- (2) ほ場の一筆排水等を接続するための鉄筋コンクリート大型水路への削孔は注意深く行い、必要以上に過大な削孔は行わないこと。
- (3) 工事期間中の排水は締切排水工とする。

2 既設構造物の計測監視

住宅等の既設構造物に近接して行う工事であり、工事の影響が及ぶと予想される範囲については継続的に注意深く観察を行い、問題が発生した場合は速やかに監督職員に報告し、対処方法について指示を仰ぐこと。不適切な施工により生じた補償に掛かる費用は、請負者の負担とする。

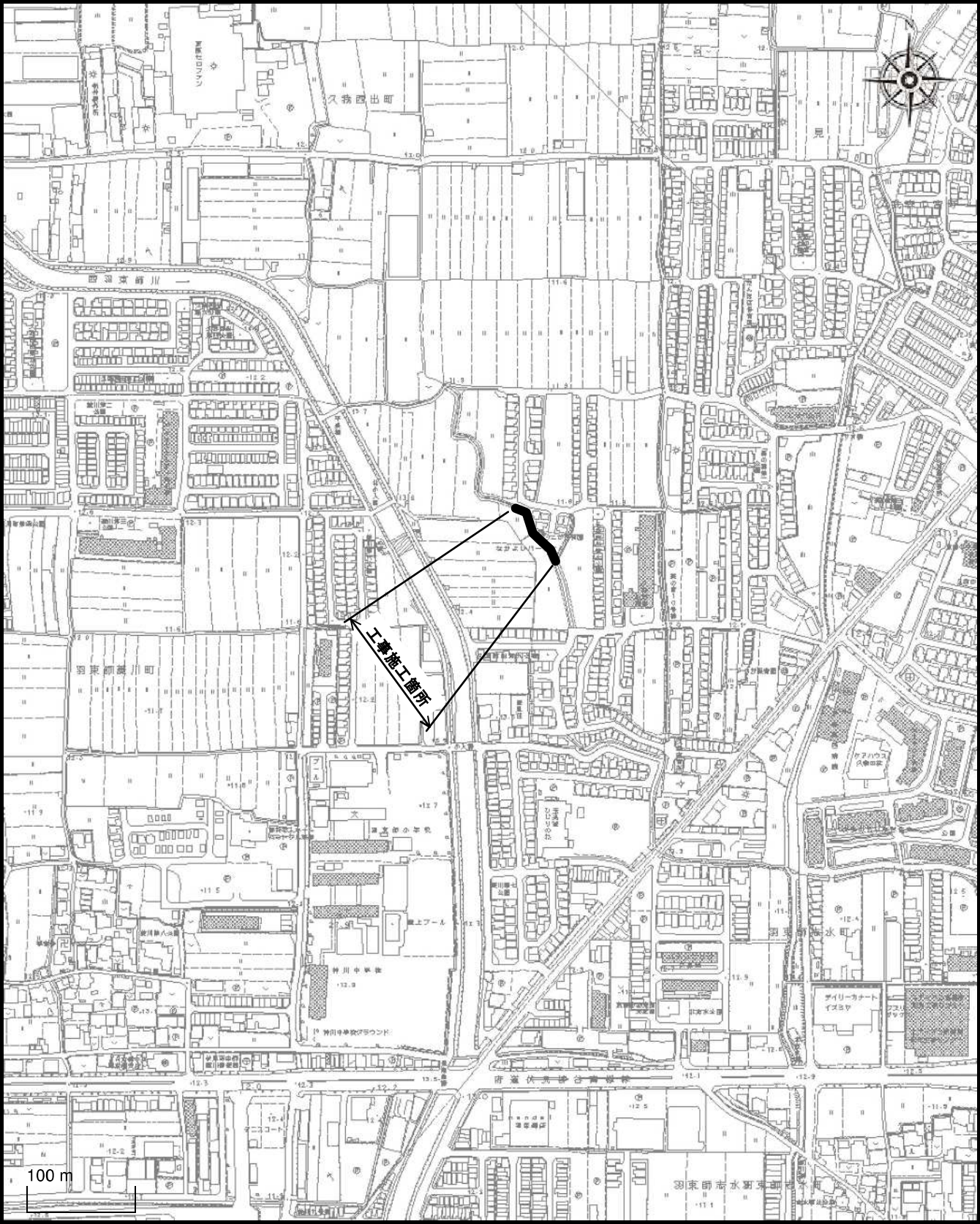
(工事書類の提出)

第 16 条 完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の 30 日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の 20 日前までに提出すること。

位置図

135.718526,34.940181

135.728600,34.940181



135.718526,34.929854

1 / 5000

135.728600,34.929854

注釈1

2025年07月28日 13時43分